


リサーチグループ登録届出書

平成 24 年 1 月 27 日

1. グループの概要

グループの名称	地誌学リサーチグループ
分野名	地誌学
設置場所	総研棟A313
設置予定期間	2012年4月1日から2017年3月31日

2. 研究代表者

所属・職名	生命環境系・教授
(ふりがな)	くれはまさあき
氏名	呉羽 正昭 

3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・教授
氏名	呉羽 正昭
電話	029-853-4401
FAX	029-853-4401
E-mail	mkureha@geoenv.tsukuba.ac.jp

4. 担当部局(当該グループの運営等を管理する部局名)

生命環境科学研究科 地球科学専攻

グループ名	地誌学リサーチグループ					
グループ名(英語)	Regional Geography Research Group					
分野	参考:1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系のうち、該当の番号を記載してください。				4	
科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		1901	3201		
キーワード(5つまで)	地誌学	地理学	地域	地域生態	地球環境	
キーワード(英語)	regional geography	geography	region	regional ecology	geoenvironment	
グループのHP:URL	http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~region/					
代表者名(英語)	呉羽正昭 (Masaaki Kureha)					
研究組織						
氏名	所属機関	職名	期) (任	専門分野	学位	役割分担
呉羽正昭	生命環境系	教授		地誌学	Ph.D.	グループ代表者
兼子 純	生命環境系	助教		地誌学	博士(理学)	
山下亜紀郎	生命環境系	助教		地誌学	博士(理学)	
山下清海	生命環境系	教授		人文地理学・地誌学	理学博士	
グループ概要(100字程度)						
<p>地誌学リサーチグループは、地球環境科学専攻のなかで地誌学に関する深い専門性をもった教員から構成される。大陸規模から商店街や農業集落といったミクروسケールまでの多様な地域スケールで、地表空間利用の変動にみられる特徴を、人間活動と地球環境との係わりといった視点から解明する。</p>						
グループ概要(英語)						
<p>Regional Geography Research Group consists of individual scientists whose expertise is regional geography in general. We study changes in use of land-surface space at various scale of regions (from global to local), focusing on the regional ecology and the relationship between human activity and geoenvironment.</p>						
設置の目的及び必要性						
<p>現代の世界では、国際秩序の再編や技術革新の進行によって、地表空間の利用は大きく変動している。またそれにともなって、さまざまな問題も出現しつつある。本リサーチグループでは、こうした変動や問題について、フィールドワークを通じてその実態を解明するとともに、地域スケールの考慮や他地域との比較といった視点からそれらの要因を探る。新たな地域秩序の発見等によって地誌学・地理学の学問的な発展が見込めるとともに、まちづくり等への応用が可能であると考えられる。</p>						
研究計画						
<p>人口5万から数10万規模の地方中心都市およびその後背地域において、農業や商業等の経済活動、さまざまな文化活動、人びとの居住などの人間活動が地表空間をどのように利用しているのかについて、2年間のうちで2週間程度のフィールドワークによって実態解明する(2012年の対象地域は長野県飯田市を予定)。さらに、立地論や地域生態論等の枠組みを採用しつつ、地方都市圏における地表空間利用の変動にみられる一般的傾向を説明する。そのほか、日本や世界において、多様なスケールに展開する地域について、多様な人間活動と地球環境との係わりについて解明する。</p>						
研究・教育に期待される効果(箇条書き)						
<ul style="list-style-type: none"> ・詳細なフィールドワークに基づく新しい地誌学(地域生態論的アプローチ)の創造 ・地方都市圏における地表空間利用の変動にみられる一般的傾向の解明 ・地誌学・地理学とその境界領域としての社会科学分野との学際研究の推進 ・複数の国際プロジェクトをリードする共同研究の推進 ・フィールドワーク能力を有する優れた人材育成 ・地誌学・地理学の専門家として国際的に活躍できるグローバルな人材育成 ・地誌学・地理学に関するリテラシーの向上 						